（様式3）　　　　　　　　　　　　資金分配団体名：一般社団法人 全国コミュニティ財団協会

休眠預金活用事業　事業計画書

I.基本情報

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名（主題） |  | | | |
| 事業名（副題） |  | | | |
| 申請団体名  （法人格+団体名） |  | | | |
| 設立年・法人化年月（西暦で記載） | 設立年 | 西暦　　　　　年　月 | 法人格取得年 | 西暦　　　　　年　月 |
| 組織の形態 | 法人化済（　　　　　　　）　　 任意団体　 設立準備会等 | | | |
| コンソーシアム申請：　 有　　 無 | | | |
| 団体の目的 |  | | | |
| 団体の活動内容 |  | | | |

優先的に解決すべき社会の諸課題（該当に✔︎）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 領域 | | 分野 | |
|  | 1) 子ども及び若者の支援に係る活動 |  | ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援 |
|  | ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援 |
|  | ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援 |
|  | 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動 |  | ④働くことが困難な人への支援 |
|  | ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援 |
|  | 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動 |  | ⑥地域の働く場づくりの支援 |
|  | ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援 |

上記以外その他の解決すべき社会の課題

|  |
| --- |
|  |

Ⅱ.事業概要

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 助成申請額 | 円 | | | |  | | |
| 事業の実施期間 | 西暦　　　年　　月　　日　　〜　　　年　　月　　日 | | | | | | |
| 事業区分  ※該当に✔︎ |  | 【設立母体組織型】 | | | |  | |
|  | 【設立準備組織型】 | | | |  | |
|  | 【事 業 拡 張 型】 | | | |  | |
| 事業対象地域名称 |  | | | | | ※資金仲介事業を行う対象事業地域（都道府県名、市町村名等） | |
| 対応をしたい対象 地域の課題とは  (300字以内) | 資金仲介を図る事業を通じて影響を与えようとする対象地域の課題とその状況について記載してください。 | | | | | | |
| 資金仲介事業を必要とする意義と地域性について  (300字以内) | 資金仲介を図る事業を実施・必要とする意義、背景についての理解や考え、並びに地域特性を記載してください。 | | | | | | |
| 資金仲介事業の「準備・活動」状況について  (200字以内) | 資金仲介を図る組織や準備会、同事業にかかる（準備）状況について記載してくだい。 | | | | | | |
| 資金仲介事業として調達を予定する金額と調達方法 | 3か年で資金調達を図る金額 | | | | | 万円 | |
| 上記金額の想定される資金調達想定の金額種別 | | | 寄　付　金 | | | 万円 |
| 社会的投資 | | | 万円 |
| そ　の　他 | | | 万円 |
| 地域の課題解決を図る為の資金の現状と、想定される資金提供先の活動等についての状況（600字以内） | 行政資金、民間資金の状況や規模感等の資金調達にかかる状況、支援先想定の組織数や事業内容、予算規模等について | | | | | | |
| 事業の対象グループ①（直接的受益者） | 事業で直接対象とする人々や集団を具体的に記載してください。 | | | | | | |
| 事業の対象グループ②（間接的受益者） | 事業では直接対象とはしないが、事業の実施により影響をもたらすことを意図する主たる人々や集団を具体的に記載してください。 | | | | | | |
| 事業内容（活動）  (各年次300字以内) | 1年次 | | 資金仲介や社会的事業を行う組織への経営支援、自律的な組織体制づくりのためにどのような事業を行うのか概要を記載してください。 | | | | |
| 2年次 | |  | | | | |
| 3年次 | |  | | | | |
| 中長期的な事業目標（中長期アウトカム）（300字以内） | 事業終了後3〜5年後以降に、事業実施によってどのような状態、どのような社会になることをめざしているかを記載してください。 | | | | | | |

助成終了時までに達成を目指すアウトプット(事業・活動による直接的成果物・事業量)と短期的アウトカム(事業実施によって生み出したい状態)を記載してください。（赤字は記入例）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 活動の結果  （アウトプット） | 指標 | 初期状態 | 目標状態 | 達成時期 |
| ＊＊県内の個人・法人からの資金＊＊の受領、年○○○万円を達成する | 寄付受領金額  社会的投資受領金額 | ①＊＊：〇万円  ②＊＊：〇万円 | ○○○万円  ○○○万円 | 20\*\*年\*月末 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業の成果目標  （短期アウトカム） | 指標 | 初期状態 | 目標状態 | 達成時期 |
| 社会課題の解決に参画する市民が増え、地域課題への関心が高まる | 資金の拠出者  資金拠出に掛る報告会の参加者 | 拠出者：〇人  報告会：〇人 | 拠出者：〇人  報告会：〇人 | 20\*\*年\*月末 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

事業の持続可能性

|  |  |
| --- | --- |
| 申請団体の基盤強化や持続可能性を高めるための取組み | 持続可能性に関わる事業の収益化/収入増加、制度化、資金調達力の強化、組織の基盤強化、事業を取り巻く環境設定等をどのように構築していくかについて記載してください。 |

Ⅲ.社会的インパクト評価

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事前評価 | 実施時期 | 西暦　　　年　　月 |
| 実施体制  (200字以内） | 評価を行うための十分な実施体制を記載してください。調査等の依頼は外部委託可能ですが、自己評価が基本となります。本助成においては、評価の全てを外部委託することは原則できません。 |
| 必要な調査 | 事業の事前評価をする際に必要な調査及び測定方法を検討の上、以下の項目より選択してください。（複数選択可）  ▼測定方法選択  ・必要なデータ：定量データ　定性データ  ・データ収集方法  文献調査　アンケート調査　関係者インタビュー  フォーカスグループディスカッション　ワークショップ  ケーススタディ　直接観察　定量データの収集  その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・情報源：必要なデータがどこに属する情報であるのか。また、インタビューやディスカッション等は誰を対象としているのか等（例えば、先行研究、行政資料、実行団体のNPO、実行団体の記録等） |
| 外部委託内容 | 評価（調査を含む）の外部委託を一部検討している場合には、外部委託する内容を記載してください。 |
| 中間評価 | 実施時期 | 西暦　　　年　　月 |
| 実施体制  (200字以内） |  |
| 必要な調査 | ・必要なデータ：定量データ　定性データ  ・データ収集方法  文献調査　アンケート調査　関係者インタビュー  フォーカスグループディスカッション　ワークショップ  ケーススタディ　直接観察　定量データの収集  その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・情報源： |
| 外部委託内容 |  |
| 事後評価 | 実施時期 | 西暦　　　年　　月 |
| 実施体制  (200字以内） |  |
| 必要な調査 | ・必要なデータ：定量データ　定性データ  ・データ収集方法  文献調査　アンケート調査　関係者インタビュー  フォーカスグループディスカッション　ワークショップ  ケーススタディ　直接観察　定量データの収集  その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・情報源： |
| 外部委託内容 |  |

Ⅳ.事業実施体制

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施体制とその役割  (200字以内） | 実行団体として、助成事業を効率的、効果的に実施するための事業の実施体制、各従事者（構成員）の氏名、その役割や担当を記述してください。 | |
| 40歳未満の若者の関与とその概要 | 40歳未満の  若者の氏名 | 役割や関与内容 |
|  |  |
|  |  |
| 想定されるリスクとのその概略  （200字以内） | どのようなリスク項目を特定し、管理を図るのか記載してください。 | |

Ⅴ.広報戦略及び連携・対話戦略

|  |  |
| --- | --- |
| 広報戦略  （300字以内） | 休眠預金等活用事業とその成果を多様な広報媒体、報告等により発信するための広報戦略について、実施内容、ターゲット、手段、期待される効果等を記載してください。 |
| 外部との連携・対話戦略（500字以内） | 資金支援を軸とした社会的事業支援のエコシステム構築に向けて、地域の金融機関や行政機関をはじめとした多様な主体と連携・対話するための戦略を記載してください。 |

Ⅵ.関連する主な実績

|  |  |
| --- | --- |
| 資金調達  の実績と成果  （300字以内） | 申請団体または構成員が関わった社会的事業への寄付をはじめとした資金調達の実績を記載してください。 |
| 助成等事業の  実績と成果  （300字以内） | 申請団体または構成員が関わった社会的事業への助成事業（社会的投資を含む）の実績と成果を記載してください。 |
| 経営支援の  実績と成果  （300字以内） | 申請団体または構成員が関わった社会的事業にかかる経営支援の実績と成果を記載してください。 |

※枠内に図表や画像を挿入いただいても構いません。

※枠内に収まらない場合は、ページ数を最大で10Pまで増やしても構いません。